



平成28年度 草の根・人間の安全保障無償資金協力 引渡式、契約署名式及び小切手供与

2016年11月24日、西パナマ県アライハン市役所において、草の根・人間の安全保障無償資金協力の引渡式ならびに契約署名式及び小切手供与が行われ、遠藤大使をはじめ、ペドロ・サンチェス・アライハン市長の他、多くの方々が出席しました。

同式典では、「アライハン市障害者用通院車両整備計画」により整備された車両が、遠藤大使よりアライハン市役所に引き渡されました。また、「エル・テカル幼稚園増築計画」の実施者であるビスタ・アレグレ地区公共団体は、大使館との間で契約署名を行い、80,508ドルが贈与されました。

これら2案件が、アライハン市民の生活の質の向上に寄与することを期待しています。



小切手供与の様子



供与された通院用車両



出席者との記念撮影



式典の様子

各案件概要

アライハン市障害者用通院車両整備計画

被供与団体：アライハン市

供与内容：30人乗りバス

供与額：59,854米ドル

案件概要：アライハン市には、人工透析療法を必要とする患者が約100人存在していますが、同療法を受けられる医療機関がありません。そこで、アライハン市役所は、療法が必要な患者を近隣の市の医療機関まで送迎する支援を開始しました。しかし、アライハン市役所が所有しているバスは1台のみで、治療を必要とする患者全員に送迎支援が行き渡っていませんでした。今回、日本政府の援助により整備された通院用車両によって、多くの患者に支援が行き渡ることが期待されます。

エル・テカル幼稚園増築計画

被供与団体：ビスタ・アレグレ地区公共団体

供与内容：2教室増築及び教室備品

供与額：80,508米ドル

案件概要：エル・テカル幼稚園のあるアライハン市は、パナマ市内で働く人のベッド・タウンとして急激に人口が増加していますが、公共教育施設の整備が追いついていません。そのため、児童の中には近隣の幼稚園に入園出来ず、遠方の幼稚園に通園するか通園を断念する子ども達があります。この度、ビスタ・アレグレ地区公共団体は、当地で義務化されている就学前教育を確保するため、日本政府に幼稚園増築の要請を行いました。